





「何回、やめなさいって言ったと思う？」

一緒に考えるポイント① ルールを破ってしまうシチュエーションの「自覚」と「工夫」



つついルールをやぶってしまうときは

あなたの家庭には、「宿題などのやることが終わったら、30分だけ動画を見てもよい」というルールがあります。でも、つつい30分を超えて動画を見てしまうことがあります。次の①～④のキーワードを使って、自分だったらどんな時に30分を超えて動画を見てしまうかを考えてみましょう。また、A～Dのキーワードの中から、自分ができそうな工夫を1つ選んでみましょう。

1 続きが気になる	2 きりが悪い	3 夢中になってしまう	4 誰も注意してくれない
A 時計やタイマーを使う	B 自動再生をオフにする	C リビングで見るようにする	D 最初に動画の再生時間を確認する

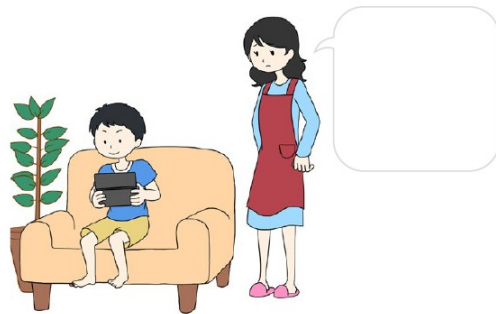
ルールを破ってしまう理由	ルールを守るようにする工夫
例) ④誰も注意してくれない	例) C.リビングで見るようにする

一緒に考えるポイント② 「ゲームをやめなさい」の伝え方を変えてみる



「ゲームをやめなさい！」と言われても

「ゲームをやめなさい」と思っているときに、家の人に「ゲームをはやくやめなさい！」とおこられると、つついイライラしてしまうことがあります。では、どんな言い方だったら、「ゲームをやめよう」と思えますか？ ひとつえらんでみましょう。



1 あと何分でやめられそう？	2 ゲームをやめて、いっしょに話そうよ。	3 あと5分でゲームをやめてね。
--------------------------	--------------------------------	----------------------------



情報モラル 育成ガイド



自分で考え、上手に活用できているレベル

- 自分で目的を意識して、タブレットやスマホ、ゲーム、持ち帰った端末を活用できている。
- スマホやゲーム以外にも楽しめるもの、夢中になれるものがある。
- 困ったときだけでなく、いろいろなことを保護者に話してくれている。
- 自分のことだけでなく、友達やクラスのよりよい使い方も考えている。



保護者が管理しなくても活用できているレベル

- 保護者が言わなくても、タブレットやスマホ、ゲームに関するルールを守ることができている。
- 持ち帰った端末を子ども自身が管理できている。
- 困ったときには保護者に相談することができている。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているか話してくれている。



保護者が管理すれば活用できているレベル

- タブレットやスマホ、ゲームに関するルールがある。
- 保護者が言えば、持ち帰った端末を管理できている。
- 保護者が言えば、ルールを守ることができている。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているかがなんとなくわかる。



何も管理していないレベル

- タブレットやスマホ、ゲームに関するルールがなく、自由に使い続けている。
- 保護者が何度言っても言うことを聞かず、ケンカになることも多い。
- 持ち帰った端末を管理できているかわからない。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているかわからない。